

## 》商工会議所活用レシピ

FILE | 30

### 大手進出企業との交流事業で販路が拡大 常にバックアップしてもらっています

弊社は、昭和47年に梱包資材くわくしざいの製造・販売を手掛ける企業として創業しました（平成20年に現社名に変更）。以来、お客さま

にとつて真に役立つ商品の提案を続けています。中でも特に力を入れてきたのが、パッケージ製品にとつて大きな課題となる耐久性や機能性の追求です。これは、経営を通じて地球環境の保全にも貢献したいとの理念の下、取り組んできました。

そして試行錯誤を重ねる中で生まれたのが、商品を真空状態に保つことで、冷蔵庫などを使わなくても、味や品質を損なわずに長期保存できるパッケージです。また、耐摩耗性や防水性に優れた特殊樹脂を従来のスチロールなどに塗布することで、何

度も繰り返し使用できる梱包資材なども商品化し、これらは環境に配慮した製品としてさまざまな方面から注目をいただいています。

しかし、昨今の当地域の経済状況は極めて厳しく、こうした中、弊社も新たな展開が求められていました。そんなときに佐賀商工会議所から、県内や隣県に進出する大手企業と催す交流会への参加案内があったのです。

この交流会は現在までに9回開催されていますが、私はこの全てに参加し、できる限り人的ネットワークを広げようとしています。そして実際に、新たな販路を開拓することができました。ここで交換した名刺を持って進出企業の担当者を訪ね、自社の製品をアピールしたところ、採用が決まったのです。



IMARI株式会社  
代表取締役社長  
福井 秀平 さん

もちろんこのとき、商工会議所の後押しがありました。進出企業の担当者には、弊社の製品の高さと技術の高さを力説してくれました。

また、隣県に進出しているある大手自動車メーカーの本社が募集していた、部品や資材の供給企業に応募したときにも、商工会議所が陰からバックアップしてくれました。現在、この企業とは、九州の事業所だけでなく本社とも取引が行われ、これは社員一同、大いに励みとなっています。

このように交流会への参加をきっかけに、弊社も新たな一歩を踏み出すことができました。これからも、商工会議所からのアドバイスを受けながら、挑戦を続けていきます。

ご相談は最寄りの商工会議所までお気軽にどうぞ

担当者からひと言



佐賀商工会議所  
副事務局長・総務部長  
八谷 浩司

交流事業は地域循環型経済を取り戻そうと、平成20年にスタートしたものです。

当日は、進出企業のトップによる自社の概況説明とともに、その企業の製品展示会や懇親会も行い、地元企業がどのような切り口から参入できるか検討する機会を提供しています。また、進出企業側には、当日交換した名刺を持って訪ねてきた人とは必ず会つてもらおうよう依頼。この仕組みを活用して積極的な営業活動を展開しているのが、福井さんです。当所としても、できる限りのバックアップを行っています。これからも前向きになれる企業が「社でも増えて地域経済が活性化するように、事業強化に努めていきます。」